

子ども達と共に 未来を育てるしごと

児童養護施設

至誠学舎 園家
至誠大地の
至誠大地の
至誠大地の



職員採用案内

あか なるく なお 直く すこ 健やかに

社会福祉法人 至誠学舎立川 児童事業本部

〒190 - 0022 東京都立川市錦町 6 - 26 - 15

tel 042 - 524 - 2601 fax 042 - 524 - 2367

URL: <http://www.shiseigakuen.org> Email: recruit@shiseigakuen.org



【 私たちはこんな人材を求めています 】

- 法人・施設の理念、養育方針に共感していただける方
- 自分自身を成長させたいという意欲のある方
- 心身ともに健康に自信のある元気な方
- 協調性があり、礼儀正しく振る舞える方
- 子ども達の夢を力いっぱい応援したい方

職種と資格

- ・ チャイルドケアワーカー 保育士、児童指導員、社会福祉士、教員免許
- ・ セラピスト 臨床心理士、心理系大学院修了者
- ・ 栄養士 管理栄養士、栄養士
- ・ 看護師 看護師
- ・ 事務職員 簿記、福祉事務経験等

職員研修とキャリアアップシステム

課題を多くかかえて入所してくる児童に対し専門的なケアを提供できるスペシャリストを養成するため、職員個々の研修プランをつくり計画的に研修を進めています。また多様な研修を用意し、それぞれのテーマに合わせたスキルアップとそれによるキャリアアップ、自己実現をサポートしています。

研修とキャリアアップ

研修 段階	内部研修		外部研修（東京都、社会福祉協議会 他）	
	課題別研修	QC 活動	課題別研修	専門職研修
施設長	指導	グループ別活動 (5人程度)	施設長研修	・ファミリーソーシャルワーカー
主任など			中堅研修	・心理職員
ホームリーダー	中堅		新任研修	・グループホーム
チャイルド ケアワーカー	新任			・リーピングケア ・事務職員



* その他・・・国内・海外施設視察及び交流研修
モンテッソーリ教育関連研修



【勤務条件】

➤ 勤務時間・休暇

月8休 1ヶ月変形労働制（シフトによる通勤交替勤務）

日勤 9:00～17:00 早番 6:00～14:00

遅番 14:00～22:00 断続 6:00～9:00 17:00～22:00

宿直 21:00～6:00（勤務時間には入りません。手当て支給）

* 所属部署の子どもの構成や状況によりシフトの組み方は異なります。

* 宿直勤務は週1～2回あります。

➤ 勤務地

本園及びグループホームでの勤務 立川市、日野市、国分寺市のいずれか

➤ 給与制度

至誠学舎立川 児童施設及び障害施設 給与規程により定められています。

また職務基準（人事考課）の導入により職員一人一人の専門性及び技術力を定期的に評価し、それぞれの課題を明確にすることで、その後の目標設定や研修計画に反映させています。

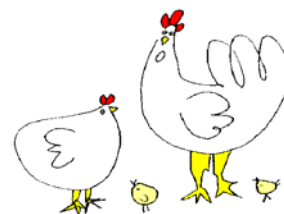


平成27年度至誠学園実績（参考）

- 初任給 209,760円 4年生大学卒業の例
（本俸193,760円、宿直手当16,000円（月4回））
- 賞与 年2回（平成27年度実績 3.5カ月分）
* 施設の経営状況により調整されます。
- 昇給 年1回 * 規程上、年齢等により昇給しない場合もあります
- 退職金 福祉医療機構退職共済制度、東京都社会福祉協議会退職共済制度（任意）
- その他手当 超過勤務手当、通勤手当、住宅手当

➤ 保険・福利厚生

雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険、退職共済、福利厚生センター職員寮（1Rタイプ、空き状況により利用できない場合があります）



～ 職員紹介 ～

保育士・社会福祉士
至誠大地の家
チャイルドケアワーカー

内野 翠

Midori Uchino

入職6年目

日本社会事業大学 福祉援助学科卒業



私は大学時代、虐待などの問題を抱える子どもやその家族について主に学び、児童相談所と児童養護施設で実習を行いました。児童養護施設の実習を通じて、児童養護施設は子どもと毎日とても近い存在として関わるからこそ、辛いこと、大変なことがたくさんありますが、同じくらい楽しいこと、嬉しいこともあり、やりがいも大きな仕事だと感じ、就職を決めました。

私が勤務する至誠大地の家は乳児から小学校低学年までの低年齢の子ども達がくらしています。毎日がびっくりするくらいあっという間に過ぎていき、慌ただしい毎日ですが、その中でも子ども達の成長を一番近くで見られた時がこの仕事に就いて良かったと思う瞬間です。子どもの年齢が小さいので「昨日できなかったことが今日できている」そんなことの連続です。子ども達の一つ一つの小さな成長をこんなにたくさん見られる仕事は他には無いと思います。

子ども達の家族や職員同士、そして子ども達とこの一つ一つの成長と一緒に喜びあいながら、私も一緒に成長していきたいと思っています。

児童指導員
至誠学園
チャイルドケアワーカー

齋藤 直基

Naoki Saito

入職7年目

国際医療福祉大学 医療福祉学部卒業



私が、児童養護施設への就職を考え始めたのは大学3年生の頃でした。正直、それまでは学習に専念することもなく、好きな野球に打ち込んでいました。大学2年時のゼミ選択も「子どもが好きだから」という安易な理由で選択していた私ですが、3年生で児童養護施設での実習を体験したことがきっかけとなりました。

縁あって至誠学園へ就職することができましたが、仕事を始めて1ヶ月、正直な感想は「大変な仕事だなあ」でした。幼いながらも、様々な経験をしてきた子たちと関わる事はとても難しく、向き合っていく事はなかなか容易なことではありません。

子ども達との日々の関わりの中で、思うことがあります。この仕事は「人に夢を見る仕事」だと。日々苦勞しながらも子ども達と向き合うことで、この施設で育っていった子が、どんな大人になるんだろうと考えるとワクワクします。子ども達が長い一生の中で、将来この施設で育った経験が力となり、苦しい時に「頑張ろう」と思えるような、背中を押せるような仕事をしたいです。

～ 職員紹介 ～

社会福祉士・児童指導員
至誠学園
家庭支援専門相談員



松岡 春菜

Haruna Matsuoka

入職 10 年目

法政大学 現代福祉学部卒業

児童養護施設で働くということは大変なことだと思えます。なかなかすぐには自分のしてきたことが結果として見えにくく、幼くしてつらい経験をしてきた子ども達と向き合うことにはかなりのエネルギーが必要になります。落ち込むことも多くありますが、子ども達の成長を感じたり、優しさに触れたり、自分の気持ちが通じた時などは、何にも代えがたい喜びを感じられる素晴らしい仕事だと思えます。

私が至誠学園に就職するまでには、一般企業への就職も候補にあったので、たくさん悩みました。それでもここに決めたのは仕事の目的、意味がはっきりと感じられ、やりがいを持ってと思ったからです。

「子どもの人生の一部になる、こんな素晴らしいことはない」と以前理事長に言われたことがあります。まさにその通りだと思います。子どもと一緒に生活をし、その子の現在や将来に少しでも良い影響を与えられるように努力することはとてもやりがいのあることです。悩みも迷いもたくさんありますが、頼もしい先輩方や、研修制度、そして子ども達に支えられ、日々成長させてもらっています。

ある 2 日間の勤務 (遅番 宿直 断続勤務)

- 13:00 出勤 日誌で朝の様子と予定を確認
- 15:00 小学生が帰宅 宿題と一緒に取り組む
- 16:00 子ども達と園庭で遊ぶ
- 17:00 幼児と一緒に入浴
- 18:00 夕食
- 20:00 幼児を寝かしつける
- 21:00 宿直者ミーティング (以下宿直業務)
- 22:00 中学生、高校生と一緒に TV をみる
- 23:30 その日の記録をつける
子ども達の様子を確認 幼児室にて就寝

- 05:30 起床 朝食とお弁当の準備
子ども達を順次起こし起床
- 07:00 朝食 学校へ送り出す
幼児を保育室に送る
- 09:30 朝のミーティング
掃除・洗濯
- 11:00 休憩
- 14:30 再出勤 おやつ準備
子ども達と散歩に出かける
- 17:30 夕食準備
- 18:00 退勤



保育士・児童指導員
至誠学園
グループホームリーダー
チャイルドケアワーカー



山田 俊一

Shunichi Yamada

入職 19 年目

日本社会事業大学 福祉援助学科卒業

私はグループホームのホームリーダーとして「一つの家を守る」という意識を持って仕事をしています。ホームリーダーは生活支援に留まらず、家族、児童相談所、学校等の関係機関との連絡調整の役割も担うようになります。子どもにとって何が最善であるかを考える上で、様々な立場の関係者との調整は生活支援同様に重要で責任の重い役割です。

グループホームは地域との関わりが深く、学校の保護者の方、先生方、近隣のおじいちゃん、おばあちゃん、お店の方々といった様々な方々と関わる機会があります。時には注意されたり、時には畑で採れたおいしい野菜をいただいたり、日常的な交流の中でホームの全員が育てられ、社会性を身につけている気がします。地域に感謝し、私たちもお祭りや学校行事など積極的に協力するように心がけています。

このホームに携わって6年になりますが、1日として同じ日はありませんでした。このホームに来て家庭に帰った子、園を卒園した子、他のホームに移った子など、たくさん子ども達との生活の中で私達大人も学ばせてもらっています。

臨床心理士
至誠学園
心理相談室
セラピスト



若松 亜希子

Akiko Wakamatsu

入職 9 年目

淑徳大学大学院 社会福祉学専攻博士前期課程

臨床心理学コース修了

児童養護施設の心理士という仕事は、生活担当の職員と協働で「子どもを育てる」という、とてもやりがいのある仕事だと感じています。児童養護施設の子どものたちは、親や家族と離れて暮らさねばならないことで、不安感・孤独感・見捨てられ感などを感じ情緒的に不安定になってしまうことが少なからずあります。加えて近年、何らかの虐待被害を受けて入所してくる場合も多く、心に深い傷つきを持っている子どもも少なくありません。このような子どもたちに対して、子どもが感じているさまざまな気持ちを共有し、子どもが表現できない気持ちを汲み取り代弁し、時には一緒に怒り、時には一緒に悲しみ、時には一緒に将来のことを考えていく心理的なケアを行うことが必要とされています。

こうした心理的ケアは、チャイルドケアワーカーと相談しながら協働で行っています。また、プレイセラピーやカウンセリングなどの心理療法を行うこともあります。こうした心理的ケアを行うことで、情緒不安定だった子どもが安心感や他者との信頼感を得ることができ徐々に落ち着いていったり、親や家族への気持ちが整理され自身の生活を前向きに捉えられるようになっていくことを目指します。